



## 女子野球チームが全国へ

女子野球「絆ヴィーナス」

本市を拠点に活動する県内唯一の女子中学野球チーム「岩手絆ヴィーナス」は7月14日、関東連盟東北支部代表決定戦に出場しました。10-11で惜敗したものの、復興特別枠で、8月10日に東京都江戸川区で開催される第11回全日本女子軟式野球学生選手権(中高生の部)に出場します。

決定戦では宮城ドリームガールズと対戦。初回に先制しましたが、3回終了時には1-8と苦しい展開。転機は5・6回、主将の菊池朋美選手(遠野東3)が2打席連続ホームラン。これを皮切りに6回には連打で一挙5点を挙げ10-8と逆転に成功。しかし最終回、守備の乱れなどで再逆転を許し、惜しくも敗れました。菊池主将は「負けはしましたが練習すればまだまだ強くなれると感じました。全国ではチームをまとめ、一つでも多く勝ってきたい」と抱負を話してくれました。

同チームは本市のほか、陸前高田市や一関市の女子中学生の19人で編成され、月2回、本市などで練習をしています。



試合終了後、宮城ドリームガールズと記念撮影する絆のメンバー

## 交通安全七夕に願い込め

宮守安全協会が七夕飾り



1\_ 笹に短冊を飾り付ける園児ら 2\_ さまざまな願いが込められた短冊 3\_ 七夕飾りを眺める園児たち



遠野市交通安全協会宮守分会(佐藤芳夫会長、739人)は7月1~9日まで、宮守町mm1で七夕飾りを実施しました。7月1日には同会会員や宮守幼稚園の年長組14人がmm1を訪れ、笹に短冊を飾りつけました。

園児たちの交通安全意識を高めようと同会が取り組み今年で4年目。「飛び出しはしません」などの園児たちの短冊のほか、「交通ルールを守ってね」など親から園児たちに宛てた短冊も飾られ、親子で交通安全を誓い合いました。佐藤会長は「子どもたちを交通事故から守ろうと活動しています。ドライバーにも短冊を眺めてもらい、安全運転を意識づけたい」と願いを込め、浅沼葉月ちゃん(5歳)は「交通ルールをしっかり守ります」と元気に話してくれました。

## こだわりの一品いかが？

野菜などの販売「空市」開催

市内のカフェや雑貨屋、農家などの共同販売会「空市」は7月20日、遠野運動公園の休憩スペースで開催されました。遠野の自然を生かした食品から物品まで、さまざまなものづくりをしている人や団体など13店舗が共同し初めて開催。無農薬で作られたキャベツや手作りクッキー、こだわりのアクセサリーなどが並べられ、会場は店主自慢の一品を買い求める人でにぎわいました。主催者の伊勢崎まゆみさんは「農家とお客様が会話をしながらの販売会を開催したいと思っていました。お客様も興味を持ってくれたので今後も定期的に開催したい」と手応えを感じていました。



無農薬の野菜などを買い求める客でにぎわう会場

## ワイン酔い「知れる」講習

市民へワイン講習会開催



ワインの魅力を分かりやすく説明する松田さん(中央)

盛岡のワインバー「アッカトーネ」などを経営する松田幸さんによるワイン講習会は7月15日、ピアレストラン「タント・タント」で開催されました。参加した市民ら30人はワインの歴史や魅力などを学びました。講習会は、松田さんのワインとの出会いや遠野の魅力が詰まった本「Vinissimo」の出版セレモニーに併せて企画。味や香りの楽しみ方などの分かりやすい説明に、参加者はうなずきながらワインを味わっていました。新田智博さん(東京都)は「いつもワインを楽しんでいます。新しい発見もあり、よりワインに興味を持てた」と満足していました。

# バケツでジンギスカン！

ジンギスカン祭り初開催



盆踊り大会に続き



イベント

第1回「バケツでジンギスカン大会」(遠野ジンギスカン推進委員会主催)は6月30日、遠野駅前広場で開催されました。会場を訪れた市内外の参加者250人は遠野ではお馴染みのバケツスタイルでジンギスカンを味わいました。

いただきます！



観光客などでにぎわう駅前、ジンギスカンをみんなで楽しんでもらおうと市内の飲食店などが集い、初めて企画。市内の精肉店などが持ち寄ったバケツ30個はすべて出払う盛況振りで、友人や家族連れでにぎわいました。菊池和文実行委員長は「市外からのお客様も来てくださり、集客は予想以上です。今後ジンギスカンを楽しめるイベントを開催し、遠野の食文化を発信していきたい」と手応えを感じた様子。北上市から家族4人で訪れた高橋文裕さんは「駅前の開催で移動に便利。遠野ならではのジンギスカンに冷たいビールがぴったりで最高です」と遠野名物を堪能していました。